

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立西小学校		
実 施 期 間	平成26年10月19日(日)・11月8日(土)		
実 施 概 要	①家族参観日 10月19日(日) ②秋の資源リサイクル活動 11月8日(土)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 ■産業 □その他		
	公開の方法 ■授業公開 □成果発表 ■交流活動 ■講演会等 ■地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	150 人	計 350 人
	地域関係者	200 人	
実 施 状 況	①家族参観日 【第1部】 糠塚良一先生による講演会を行った。「地域の誇りわが母校西校」という演題で、西小学校校章の「まがたま」にまつわる話や「天下の西校」と言われた所以、当時東大大学長の講演で贈られた額「天真爛漫」「真理立国」の意味など西小の歴史や、西小に対する地域の思いや願いを保護者とともに共有するすばらしい時間となった。また、西小学校100周年と同時に発足したコーラスグループ“からたち”の合唱もあり、親子で楽しめた。 【第2部】 1年生～6年生まで「親子ふれあい活動」として、各学年が家族とともにPTAが企画した活動を楽しんだ。(1年生：マジックショー 2年生：アートバルーン講座 3年生：ホットケーキ作り 4年生：親子ドッジビー 5年生：親子でエアロビクス 6年生：うどん作り) ②秋の資源リサイクル活動 校区の地域(全28地区)、家庭、学校が協力し合って、子どもたちのために資源リサイクルを行った。		
成 果 及 び 課 題	○糠塚先生の話は大変興味深く、心に沁み入る話であった。私も西小の卒業生であるが、今日のような歴史を刻んだ西小の話を聞いて今以上に西小に誇りを持ち、今まで以上に西小と子どもたちを大切に育んでいきたいと強く感じました。(保護者) ○こういった活動を通して、「開かれた学校作り」にもつながり、保護者はもちろんのこと、地域のみなさんが学校を温かい目で見守り、「子どもたちのために」と精一杯協力してくれるようになってきた。 ○資源リサイクルには高学年の児童たちも積極的に協力する姿が定着してきた。		



まがたま通信

平成26年度
高山市立西小学校
学校だより 第9号
平成26年10月30日

学校の教育目標 「心ゆたかに たくましく 生きる子」
願う子どもの姿 夢（目標）を叶える子
合言葉 せいっぱい 自分で 自分たちで

校長 千嶋 佐代子

10月に入って保護者や地域の方、そして他地区の方から次のような言葉をいただきました。

「昨年度も感じましたが、今年度になっての西小学校の取り組みも、いいですね。敬老会の子どもの姿、何より10月6日に行われた大阪交響楽団の演奏会に地域も呼んでくださりうれしかったです。」

「今年は、家族参観日の振り替え休業日を9日にしていただいたので、秋の高山祭りに安気に子どもたちが参加することができました。子どもたちがいるから、祭りも華やかになりました。」

「私は、いろいろな学校の校区に朝交通指導で立ちます。西小学校の校区は、本当に多くの地域の方が朝交通指導に立ってみえます。感心します。」

本当にありがたい言葉です。今年度、西小学校は、PTAと協働する・地域と協働することを大事にしています。また、郷土教育として保護者や地域の方から学ぶことも大事にしています。その一つとして10月19日（日）の家族参観日に、西小校区にお住まいの糠塚良一様に、「地域の誇りが母校西校」と題して講演をいただきました。西小学校の歴史を語り継ぎたいという願い（夢）を持っていたところ、その夢が叶い大変うれしく思っています。そして、西小学校の百周年（今から18年前）とともに誕生し、今も歌い続けていらっしゃるコーラス《からたち》の皆さんにすばらしい歌声を聞かせていただきました。こどもたちも「ピリブ」を一緒に歌い、合唱のすばらしさを味わいました。



糠塚良一様のお話の中で、『天真爛漫』と『真理立国』と書かれた額を示しながらお話されたことは、今の西小学校の子どもたちにも言えることだと気づかせていただきました。天真爛漫な子どもたちのよさを大切にしながら、真理立国を目指す子どもたちを育てていきたいと思えます。

【お知らせ】